２００６年12月　№64

みんなで遊ぼう　みんなで学ぼう　場所：国分ヶ丘集会所

国分アンビシャス広場だより

国分アンビシャス広場ホームページ
http://www.f-icq.com/ambitious

１２月の広場のある日

日	月	火	水	木	金	土
						2
			6			休
			13			16
			20			23
			休			

水曜日　15：00～17：00
土曜日　14：00～17：00
＊　9日（土）午後は、国分区のお楽しみ会のために広場は休みます。

アンビシャス教室
卓球　14:00～15:30
２，１６，２３日
囲碁　10:00～11:30
９，２３日（２，１６日　休み）
抹茶　10:00～11:00　１６日

12月23日（土）　広場
こま記録会　15時から
今年最後の記録会です、皆さん挑戦しましょう。ちびっ子指導員認定試験のための研修会も行います。
フラフープ競技会　14時から

12月16日　14：00～　集会所の大掃除します



広場風景　11月18日（土）
雨のためにちびごま・卓球・フラフープとにぎやかな広場でした。

子供に遊びと睡眠を

第一福祉大学教授　横山　正幸

「遊びの欠落」と「短眠化」という生活のゆがみは、子供の心のあり方に大きくかかわり、「負の連鎖」を引き起こしている。
外で、友達と夢中になって遊ぶはずの子が、家にこもって、遊ばなければ、心地よい疲労感はない。エネルギーを消費しなければ食欲もない。しかも家の中でメディア漬けになり、光刺激に長時間さらされていれば、脳は興奮し、目がさえ、眠れなくなる。就寝が遅くなれば、十分な睡眠は取れない。そうなれば自立起床ができず、おきても頭がすっきりしない。食欲もない。やる気も起こらない。遊びという発散がないわけだから時にはイライラしたり、無性に暴れたい気持ちにもなる。子供たちがよく遊び、高い学力を身につけるには、授業時数や授業内容を考えるだけでなく、この「負の連鎖」を断ち切る必要がある。親、教師、地域の人々が「子供らしい生活」の大切さを真剣に考え、実現に向けて具体的に行動することが今、切実に求められている。　（読売新聞から抜粋）



ちびっ子指導員　100名にこま指導
社会教育センターで100名の子供たちにこまを指導しました。幼稚園から大学生まで全員がこまを回せるようになりました。ちびっ子指導員の活躍は、RKBテレビで放送されました。

12月16日（土）１０：００～
福津市の子供たちが国分アンビシャス広場に**こま**の指導を受けに来ます。ちびっ子指導員のみなさんお願いします。

未就学児は、ボランティアの目が届きません**保護者同伴**でお願いします。

アンビシャス運動は県民運動です

広場についてのお問合せ　TEL924-0580
国分アンビシャス広場委員会　藤田彩子